

3 事業概要

別紙1-1

(1) テーマ

自他を大切にし、ともに高め合おうとする子の育成をめざして
— 人とのかかわり合いを通して —

(2) ねらい

- ・ 宮田小学校支援ボランティアの方とのかかわりを通して、自然体験、社会体験活動を進める。その中で、児童が自分を見つめ、自分を大切にする心を育む自分づくりや、他を思いやり、互いに高め合う仲間づくりの態度を育てる。(自己理解・他者理解)
- ・ 集団の中での自分のかかわりの必要性や価値を学び、よりよい集団づくりを進めていく態度を育てる。(集団の教育力)

(3) 活動内容

ア 心をはぐくむ推進委員会

地域・保護者・児童・教職員の代表からなる「心をはぐくむ推進委員会」を設置し、事業を推進した。

- ・ 第1回 推進事業に関する内容説明・組織・方針・年間事業計画の検討
(1学期) 各学年の取組の紹介、生活指導の取組の紹介
児童代表の発表
(ペア交流、全校歌声集会、総合的な学習の時間、読書週間)
推進委員の方の感想・助言
- ・ 第2回 推進事業に関する経過報告・今後の活動予定
(2学期) (ホームページの開設、「自分づくり仲間づくりだより」の編集計画)
(心を育てる「道徳授業」の展開)
児童代表の発表
(大根の栽培、藍の栽培とソーラン節、鳴子作りと藤乱舞、菊作り)
推進委員の方の感想・助言・地域連携の提案
- ・ 第3回 推進事業に関する経過報告、活動の成果とまとめ方の検討
(3学期) かがやき集会・かがやき発表会の持ち方の検討
児童代表の発表
(稲刈り・脱穀・餅つき・花餅作り、昔の遊び、ケナフの紙すき)
推進委員の方の感想・助言・今後の活動への要望

イ 自他を見つめ直す、道徳・エンカウンターを取り入れた授業

自他を大切にし、ともに高め合おうとする心の育成を図るためには、子供たちに「自分は周りの子にこんなことができた」「自分も自分以外の人もみんな大切な人」などの思いを抱かせることが大切であると考え、集団の中で自分のかかわりの必要性や価値を学ぶことを目標にした道徳の授業や、エンカウンターを行うことで、目指す子供像に近づけるように実践を重ねた。

(ア) 道徳の授業公開

授業参観日(6月、10月)に、全学級で道徳の授業公開を行った。主に「人とのかかわりに関すること」(礼儀、思いやり・親切、信頼・友情、尊敬・感謝)を主題とした。授業に保護者が参加し、子供とともに活動する場面も見られた。

(イ) 道徳の研究授業(4年の実践「絵はがきと切手」)

料金不足のはがきを送ってきた友達に、本当のことを伝えるかどうかについて話し合いを進めた。「できるだけ早く教えたほうが親切だ。お互い注意し合うのが本当の友達だ。」「自分が言われたらいやだ。友達が傷つくかもしれない。」など、相手のためにはどうすべきか考えたり、友人関係に慎重になったりして、みんなが本音で話し合う姿が見られ、交友関係を考え直す良い機会となった。

(ウ) エンカウンターを取り入れた授業（5年の実践「いいところ探し」）

5年生では、自分や友達の気持ちに敏感になる時期ととらえて、カードに友達の良いところを書き込んでいたり、それを読んでさらに付け加えたりさせるエンカウンターを取り入れた授業を行い、友達をより深く見つめ、自分を客観的にとらえさせる機会を設けた。

ウ 宮田小支援ボランティアとの体験活動（自然体験・社会体験）

本校は、以前から多くの宮田小支援ボランティアの方々と共に、体験活動をするのに力を入れてきた。本年度も43人の支援ボランティアの方々の協力を得ることができ、自然体験や社会体験などの活動を、意図的に年間活動計画の中に組み入れ、これらの体験から、自他を見つめる態度の育成を図った。また、このかわりの中で、学校関係者だけでなく、地域の多くの人から、自分が大切にされていることを味わわせたいと考えた。

平成18年度 体験活動内容（ボランティア関係）

<1年> 「草花遊び」

「昔の遊び」など「遊び」を通して、自然や昔の人の様子に触れさせるとともに、なによりボランティアの方々と触れ合いの場面を多く設定した。

<2年> 「町探検」による社会体験と「野菜作り」による自然体験の二つの柱で、体験活動を行った。

<3年> 「宮田の昔」を学年テーマとして「町探検」「江南音頭」「大根の栽培と加工」を経験させ、「宮田の昔体験」につながる活動を行った。

<4年> 「環境学習」を中心に、体験活動をと

らえなおし、「藍の栽培と染め付け」「ケナフの栽培と紙すき」の栽培活動と、「ヤゴ救出」「ウォーターランド観察会」の自然体験活動の両面から環境を考えさせる取組を進めた。

<5年> 「日本の食文化」を学年テーマとして、「米作り」の様々な活動を通して、自然のすばらしさや、農家の人々の知恵や工夫、米の加工や料理など、米にまつわる様々な文化を学ばせた。

<6年> 「未来に向かって」を学年テーマとし、「福祉」「自然環境」「国債理解」「歴史」の4分野の中で各自が自分のテーマを設定して研究を進めた。「曼陀羅時のお話」「戦争体験のお話」は学年全員が聞き、「曼陀羅時の清掃」にも全員が参加した。また、「菊作り」にも全員で取り組み、ボランティアの方の熱心な指導のおかげで、一人一人、形も色も違う、自分だけの菊を咲かせることができた。

4月	藍のお話・畑の準備（4年）ケナフの栽培（4年）
5月	草花遊び（1年）野菜作りの話（2年）町探検（3年） トンボ教室（4年）サツマイモの植え付け（全学年）
6月	町探検・野菜作り（2年）ウォーターランド観察会（4年） ヤゴ救出（4年）田植え（5年）曼陀羅寺のお話（6年）
7月	野菜の取り入れ（2年）江南音頭練習会（3年） 藍染め教室（4年）菊作りの話（6年）
9月	大根の種まき（3年）江南音頭練習会（3年）菊作り（6年）
10月	町探検（2年）江南音頭発表会（3年）稲刈り（5年） ウォーターランド観察会（4年）菊作り（6年） サツマイモの収穫（全学年）
11月	昔の遊び（1年）大根の収穫（3年）脱穀（5年） 菊作り（6年）戦争体験のお話（6年）
12月	おでん・漬け物（3年）ウォーターランド観察会（4年） 餅つき・花餅作り（5年）曼陀羅寺の清掃（6年） 菊作り（6年）
1月	昔の遊び（1年）宮田の昔体験（3年）縄ない（5年） ケナフの紙すき（4年）
2月	かがやき集会（全学年）

<読み聞かせ> ボランティアの方による「読み聞かせ会」を、週 1 回、年間を通して実施している。昼放課を利用して、絵本の部屋に集まる子供たちに、絵本を読んだり、紙芝居を行ったりしている。

エ 児童会活動による仲間づくり

児童会が主体となって、ペア活動や集会活動を行った。異学年の子供が、同じ目的をもち、協力する機会を設けることで、同学年だけでなく、ペア学年や他学年との集団の中での「自分」を見つめさせたいと考えた。

(ア) ペア活動

1・6年、2・4年、3・5年が、ペア学年として様々な活動に取り組んでいる。「ペアで遊ぼうキャンペーン」「ペア遊び」（代表委員会が企画）、「いも掘り」「収穫祭」「保健ビンゴ」（各委員会が企画）などで交流を深めている。

「ペア遊び」（6月と1月の年2回）や色々な遊びを通して、他学年との交流を深めることを目的とし、「おんぶおにごっこ」や「手つなぎ大縄」など、できるだけペアの子供同士の触れ合う機会が多い遊びを、高学年の子を中心にして、ペア学級毎に考えて実行した。

(イ) 集会活動

「1年生を迎える会」、「6年生を送る会」、「歌声集会」などの全校で取り組む集会や、「藤まつり激励会」、「陸上運動記録会選手激励会」などのクラブや学年を主体に取り組む集会を、年間で数多く企画した。月曜の朝会時や朝の会に、テープを使って今月の歌を元気いっぱいに歌い、7月、12月の年2回行う全校歌声集会では、低学年と高学年に別れて、それぞれの曲を互いに発表し合った。2月の「かがやき集会」では、全校合唱を行った。一人一人の歌声が学級や学年、さらには、全校の歌声となって、学校中に響くことを目的として取り組んだ。

(ウ) かがやき集会

「自分づくり・仲間づくり」の活動を支えていただいたボランティアの方々との自然体験や社会体験活動を振り返る、「かがやき集会」を行った。この集会では、自分たちの取組を振り返るだけでなく、他学年の発表を見たり、聞いたりする中で、次年度に向けての見通しを一人一人が持つことも目的とした。また、いろいろな体験活動に協力し、支えてくださった地域のボランティアの方々に、心から感謝の気持ちを伝える集会とした。

オ 家庭・地域への広報活動

家庭・地域の協力を得て、教育活動をしていくために、学校での教育活動を家庭・地域に発信し、理解してもらう必要がある。本年度、ホームページを開設し、「自分づくり・仲間づくりだより」も発行し、保護者や地域の方々に、学校での子供たちの取組や、「心をはぐくむ推進委員会」で話し合われた内容を知らせるように工夫をした。

(ア) ホームページ

本年度9月より、ホームページを開設し、行事や体験活動、授業の様子などをいち早く紹介し、地域との連携を強めるように心がけた。

(イ) 自分づくり・仲間づくりだより

毎月1度、「自分づくり・仲間づくりだより」を発行した。行事や体験活動、授業の様子などを紹介し、「自分づくり・仲間づくり」の活動が、家庭・地域に伝わるように全児童に配付した。

(ウ) 校内掲示

各教室の背面掲示板に「自分づくり・仲間づくりだより」のコーナーを設置し、自分たちの学年の活動の様子を確かめるとともに、他学年の活動も見られるようにした。また、各脱履に設置してある学年・児童会コーナーでは各学年や児童会の取組の様子を写真で紹介し、全学年の活動が簡単にとらえられるようにした。